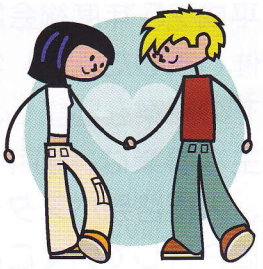
第24号

うつべ人権協だより



発行　平成２６年３月
内部地区人権教育推進協議会
（内部地区市民センター団体事務局内）

内部地区人権教育推進協議会は、**「人が人として尊ばれ、住んでいてよかった住んでみたいまち、うつべ」**の実現を目指して活動しています。

平成25年度も次のような活動を展開しました。

「あなたの勇気が　みんなを変える」
内部中学校　3年
直江　莉奈　さんの作品

１２月に、市・文化会館で開催された
「じんけんフェスタ２０１３」の会場に
展示された、人権啓発ポスター

「十人十色　認め合おうそれぞれの個性」
内部中学校　2年
北澤　　瑠　さんの作品

「うつべ人権協だより」は、毎年１回全戸配布しています。

平成 25 年度総会

平成 25 年度総会は、連合自治会長・内部地区市民センター館長にもご臨席いただき開催しました。24 年度の事業報告や決算をはじめ、25 年度の事業計画と予算案についての議案を審議し、いずれも原案どおり承認されました。

主な事業は、前年に引き続き人権地区懇談会の開催や南部ブロック人権ひろばの開催、人権啓発ポスターの掲示など、地域の方々の協力をいただき、人権の大切さを積極的にＰＲしていくことになりました。

人権地区懇談会の開催

私たちの内部地区が、人権が尊重された「住んでいてよかった、住んでみたいまち」として認められるように、私たち一人ひとりが人権意識を一層向上していくことが必要です。このため、本年度も小古曽町を皮切りに、波木町、南小松町、采女町西部、中堀町、采女町北部の６地区で人権地区懇談会を開催しました。今年度から、講師に市・人権センターの森本裕也先生、小林　裕子先生をお迎えし、あるまちの様子を描いたイラストマップを活用して、このまちに暮らす人にとって、「やさしいなぁ」と思うところ、「気になるなぁ」と思うところを出し合い、議論を重ねました。

この経験は、今後私たちの日常生活の中での「気づき」に大いに役立つのではないかと思います。

小古曽町で

南小松町で

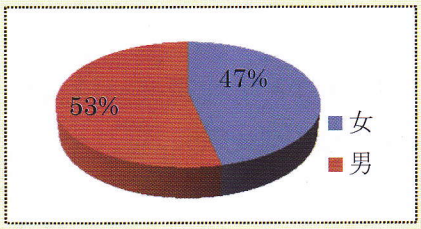
中堀町で

波木町で

采女町西部で

采女町北部で

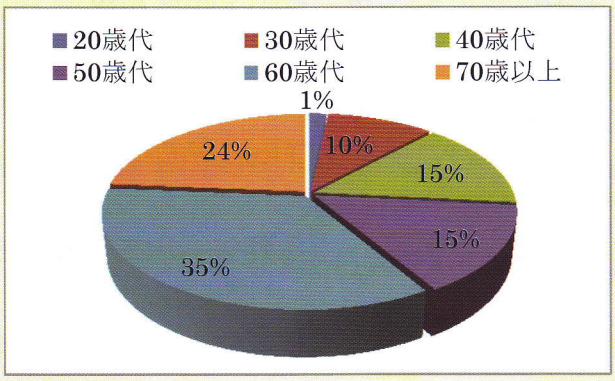
アンケートから見た地区懇談会



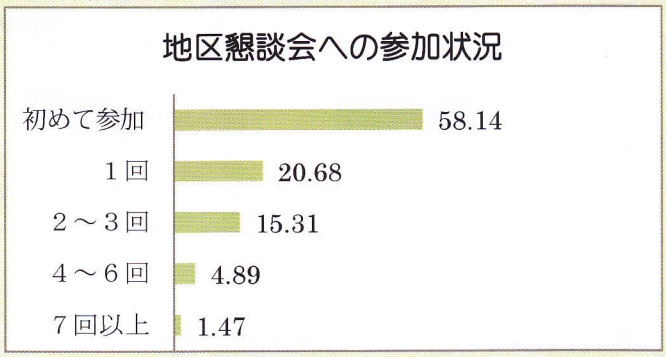
平成２２～２５年の地区懇談会には、６９７人の参加を得て開催することが出来ました。

そのうち、６１５名(88.23%)からアンケートへの協力をいただきました。

その性別は、左のように女性が 47%で、年代別では６０歳代が３分の１強、７０歳以上が４分の１弱を占め、現役世代は40%強で、２０、３０歳代の参加は11%に止まりました。現役世代の参加を期待しての夜間、或いは休日開催への配慮も功を奏しませんでした。



つぎに、地区懇談会への参加状況は、「初めて参加」が、下のグラフのように60%に迫っております。平成２１年までの51%に比べ増えており、このことは初めての参加者が増え、人権への関心の広がりがあったと解釈することができると思いますが、手前味噌でしょうか。



また、自由記入欄も、記入時間が短いなか、多くコメントを27.52%の１６９名の方からいただき、その内容を、今後運営の参考にと考えています。

コメントの中に、**「波木町のお宮の階段には、男道と女道がありました。今は女道は使われていません。」**とありました。さて、これは男女差別の遺構でしょうか？　**その真相は？**

内部地区文化祭人権啓発コーナーの設置

12月３日内部小学校を会場に、内部地区文化祭が開催されました。人権協では会場の一画に小中学校の児童・生徒の人権ポスターを掲示し、文化祭の来場者や参加者に人権の大切さを訴えました。

ポスターを見ていただいた来場者にアンケートを行い、ポスターを見て感じたことをお書きいただきましたのでその一部を原文そのまま紹介します。

- 子どもたちが素直に考えた作品がとても心にひびきます。
- まだ成人に満たない子どもが、命、人権に向き合うよい機会だと思う。
- 命の重さは、子ども・大人に関係なく一緒です。
- 「1人でなやまないで」、自殺をする子どもたちに少しでも届いてほしい言葉だと思う。
- いつもはゆっくり見れなかったです。今日はたくさん見せていただきました。「いじめは人を醜くする」標語もあっさりと、絵もインパクトがありました。

南部ブロック人権ひろば

平成26年1月26日、楠福祉会館において、南部ブロック人権教育連絡協議会（内部・楠・日永・塩浜・河原田）主催の「人権ひろば」が開催されました。

まず、ブロック内小中学校の児童・生徒による人権作文が発表され、内部地区からは、内部小学校６年生　冨山美咲さんが、「自分の思いを伝えられるように」と題した作文を発表しました。冨山さんは、学校での友達からのいやな思いに立ち向かい、それを克服した体験を率直に表現し、参加者から大きな拍手がありました。

このほか、各地区からは次の方々が発表を行いました。

日永小学校　　６年生　川村　晃大さん
「ぼくの思いやり」
河原田小学校　６年生　中川　真生さん
「いじめをしない自分に」
三浜小学校　　６年生　赤塚　七海さん
「自分の弱さ」
楠中学校　　２年生　吉野　元気さん
「勇気を持って」

※　吉野さんの「吉」は「土」ではなく「土」です。

冨山　美咲さん

◎　**各地での講演会等の開催状況**

なお、このほかにも各地で人権に関する講演会や研修会が開催されましたので、その一部を紹介します。

平成26年度も同様に実施されると思われますので、機会を見つけてご参加いただければ幸いです。なおご参加いただく際は、それぞれの団体もしくは内部地区団体事務局（電話３４７－１２２４）へご照会ください。

日永地区	７月	矢野　きよ美講演会（日永人権・同和教育講座）
四日市市	８月	四日市人権・同和教育研究大会（市文化会館）
保々地区	８月	人権まちづくり講座、さらなる一歩を踏み出そう！
塩浜地区	１０月	人権・文化お月見フェスタ
四日市市	１０月	人権研修リーダー養成講座、これからの人権啓発
西部ブロック	１０月	部落問題の現実とこれから
四日市市	１２月	じんけんフェスタ２０１３
河原田地区	２月	人権コンサート

発行にあたって

「うつべ人権協だより」の各戸配布も２回目となりました。皆さんに少しでも読んでいただき、人権の大切さを再確認いただけるように努力していきたいと考えています。

また最近のマスコミ報道では、児童虐待のニュースが大きく報道され、深刻な状況が続いています。虐待を防ぐためには、深刻化する前の早期発見が大切です。虐待防止意識の啓発に加え、地域で子どもたちを守っていくよう共に力をあわせていきましょう。